

多摩市青少年問題協議会
平成27年度 第2回本会議議事録

【書記】 滝川・堀江

- ◆ 日 時 平成28年2月20日（土） 午前9時30分～10時30分
- ◆ 会 場 市役所301・302会議室
- ◆ 欠席者 戸田委員、馬渡委員、烏山委員（全3名）
- ◆ 議 題
 - 1 各委員会の報告
 - 2 事務局報告
 - 3 情報交換

開 会 議長（田代委員）より、現在31名の出席があり定足数に達しているので本会議を開催する旨の開会宣言があった。

会長挨拶（会長 阿部裕行市長）

日頃より、青少年の健全育成に向けてご尽力いただき、改めて感謝申し上げます。新しい年を迎え、各地区委員会ではどんど焼きが実施された。それぞれの地区委員会では地域の方々の力でどんど焼きを開催していただいている。ありがとうございます。来年度に向けて、これまで小中学生を広島県に派遣してきたが、来年度は長崎県への派遣を検討している。

2月22日に放送される『クローズアップ現代』（NHK）では、官製ワーキングプアが増加している中、市が発注する業務に従事する方の適正な労働条件を確保し、労働者の生活の安定を図ることを1つの目的とする「多摩市公契約条例」が紹介されることになった。よろしければご覧ください。

本日は、長丁場になりますが、宜しくお願いします。

新委員の紹介 平成27年8月24日付で新しく委員になられた多摩中央警察署長の西原 剛委員のご紹介

■議題■

1 各委員会の報告 *平成27年度多摩市青少年問題協議会報告書（案）

（1）議事1 青少年健全育成委員会報告（議長 前島委員より）

「青少年のインターネットの利用に関する安全対策」をテーマとして、小学生・中学生、その保護者を対象として、青少年のインターネット利用の現状を把握するために実施したアンケートの集計結果（速報値）について説明があった。

(2) 議事2 表彰選考委員会報告 (議長 武内委員より)

表彰基準の確認する中で、日頃から良いことをしている子どもたちをどんどん表彰していこうと話し合いを行うとともに、善行青少年として1名・2団体、青少年対策協力者として5名・2団体を受賞者(団体)として選考したことについて報告があった。

(3) 議事3 地区委員会会長会報告 (同委員会議長 斎藤委員より)

地区委員会合同委員研修会、全地区委員会をあげて実施した合同夜間パトロールやあいさつ運動キャンペーン、会長会自主研修会の開催状況について報告があった。

○質疑応答・採決

議事1から3までについて、一括して質問を受けたが質問はなく拍手にて「承認」。これをもって、平成27年度多摩市青少年問題協議会報告書(案)は本会議にて可決された。

2 事務局報告

平成27年度計画の実施状況について、事務局より報告があった。

①青少協だより「多摩のこども」

7月20日と12月20日の年2回、「たま広報」に折り込むかたちで、新聞購読世帯に全戸配布。内容は、平成27年度青少協活動報告や、平成28年の新成人からのメッセージ、地区委員会会長会主催の活動状況、各地区委員会の行事の紹介、インターネット等に関するトラブル相談・ひきこもり相談などの青少年に関わる相談窓口など。

②「家族の日」の推進事業

「多摩のこども」への掲載や、懸垂幕を掲示することにより、「家族の日」を啓発。

③夕やけチャイム

例年どおり防災無線を活用して、4月から10月までは午後5時、11月から3月までは午後4時に放送。本年4月から、従前の夕やけチャイムより、メロディーやアナウンスを短縮した夕やけチャイムを全市的に放送している。

④地区委員会での各種活動

地区委員会の様々な事業は、防犯活動などの環境浄化活動、地域でのあいさつ運動などの啓発活動、青少年の育成行事などを通じコミュニティの形成活動を柱に取り組みされている。

貝取地区委員会と豊ヶ丘地区委員会の両地区委員会では統合に向けて、今年度から地区委員会だより「バルコニー橋」を共同発行するとともに、昨年度に引き続き、交流を深める事業として「ニュースポーツ大会」や合同による定例会を開催。今後も、相互に話し合いをしながら、統合に向けた事業や活動の取り組みを実施する。

愛宕地域については、平成25年度から西愛宕地区委員会が活動を休止している中で、東愛宕地区委員会が中心となって、隣接する第二地区委員会や愛宕地域の小中学校、保護者と連携を図りながら事業の統合や組織の再編などを進めていただいている。

⑤こども110番連絡協議会

小学校のPTA等を中心とする17組織で構成され、地域の皆様に、子どもたちの緊急避難場所のご協力をあおぎ、避難所のプレートを掲げていただいている。平成28年2月現在の登録

数は、3,699件となっている。

3 情報交換

(1) 関係機関からの情報提供

①多摩中央警察署（多摩中央警察署長 西原委員）より

少年非行対策官として、立ち直り支援などの少年非行対策に関わってきた。青少協活動にその経験を少しでも生かしたいと考えている。

○多摩市内の青少年の非行等の概況について（平成27年度）

- ・暴行や傷害、万引き等で検挙した少年 36人（前年度と比較すると8人の減少）
- ・不良行為等を理由とする補導少年 151人（前年度と比較すると20人増加）。補導の理由は、深夜徘徊、喫煙、飲酒、ゲームセンターへの立ち入りなど
- ・インターネットの利用を通して福祉犯罪に被害にあったり、援助交際などの非行に及ぶケースが増加していることが想定される。
- ・非行の背景としての少年心理の特徴は、忍耐力・自己抑制能力の低さ、罪悪感・自尊感情の希薄さが指摘されるとともに、親の監護能力の低下、青少年の健全な成長に悪影響を及ぼす有害情報の氾濫、地域コミュニティの見守り力の低さなども複雑にからみあっていると考えられる。

多摩中央警察署では、インターネット利用に当たって、フィルタリングの利用や、家庭内・友人間のルールづくりの普及促進のための広報啓発活動を推進してきた。今後も引き続き強化推進していく。

地域パトロールや声かけ、青少年の居場所づくりが必要である。ご理解とご協力をお願いします。

②南多摩保健所（南多摩保健所長 渡邊委員）より *資料2

- ・インフルエンザの流行がピークとなり、学級閉鎖になる学校も増加している。学級閉鎖になっても児童館や塾に通うご家庭がある。ご家庭の事情があるが、学級・学年閉鎖は集団内で感染することをなくすために実施するものであるため、その趣旨をご理解いただきたい。
- ・学年別薬物乱用防止教育プログラム（第3版）を作成した。学年にあわせた薬物乱用防止のための教育内容となっている。児童館や防犯協会、地区委員会の行事の中でもご活用いただきたい。教育プログラムは南多摩保健所のHPからダウンロードできる。DVDやパワーポイントの電子データはご要望があれば提供する。

③多摩児童相談所（多摩児童相談所長 影山委員）より *資料3

○平成27年度多摩児童相談所に寄せられた相談概況について（推計値）

- ・多摩児童相談所に寄せられた相談のうち、虐待に関する相談は48%
- ・虐待受理件数 716件（昨年1.5倍）

- ・虐待相談受理件数 多摩市は144件（今年の1.6倍）
- ・近隣・知人からの相談が最多。
- ・虐待種別としては心理的虐待が最多。子どもがいる家庭におけるDVが子どもへの心理的虐待と考えるため。
- ・虐待するものは実母が約7割、実父が約3割
- ・非行受理件数も増加傾向（非行の内容は、家出・粗暴・盗みが中心）

児童虐待防止の啓発を行なっている。虐待通報は189にお電話ください。

（２）市役所からの情報提供

①中村 総務部長より *資料4

不審者出沒や犯罪発生等の情報を、あらかじめ登録して頂いた携帯電話やパソコンへメールで提供するサービスを実施している。平成28年2月1日現在の登録件数は8,574人。

○平成27年度の不審者情報の傾向

市に寄せられる不審者情報は、平成23年度以降増加傾向で平成26年度は90件であったが、平成27年度は57件と減少した。不審者情報が多いのは、地域は永山、時期は9月、時間帯は下校時間の午後3時頃。内容としては、露出が18件、撮影が12件と多くなっている。

子どもの安全・安心のためにより一層の見守りにご協力をお願いします。

②福田 教育部長より

○通学路の防犯カメラの設置について

通学路の安全対策として、今年度は、永山小学校・瓜生小学校・西落合小学校・東落合小学校の、不審者情報が多いエリアから順次計画的に設置している。来年度は既存地区に設置していく予定。今後も平成30年度までに計画的に順次設置を行なっていく。設置場所については、地区委員会やPTAの方々との協議をして検討して参りたい。ご協力をお願いします。

○学校内の防犯カメラについて

平成28年度・29年度の2カ年中に中学校に設置予定。小学校には設置済み

○ユネスコスクールについて

多摩市の全小・中学校は、ESD（持続発展教育）を推進するユネスコスクールに認定されている。「2050年の大人づくり」をキャッチフレーズとして、子どもたちが地域の方々とのつながりなどを通して様々な経験をすることにより、自分で判断して積極的に行動していける力を身に付けられるような取組みを行なっている。

平成28年2月5日に「多摩市子どもみらい会議」を開催し、「防災」をテーマに、市内5つの小・中学校の子どもたちが、これまでに取り組んできた学習の成果、未来に向けて取り組むべきことなどを発表。「自分の知識を地域の知識へ～防災に強い街づくりへ～」というキャッチフレーズをまとめあげ、有事の際に、守られる存在から守る存在になり地域の人たちを助けるという決

意表明があった。

来年は「環境」をテーマとして「多摩市子どもみらい会議」を開催する予定である。このような取組みを今年度より5年間にわたり行なっていく。

副会長挨拶（副会長 清水教育長より）

子どもたちの健全育成のために、様々な活動に取り組んでいただきありがとうございます。今後とも宜しくお願いします。

（配布資料）

事前配布	平成27年度多摩市青少年問題協議会報告書（案）
当日配布	平成27年度第2回青少年問題協議会本会議次第
	資料1 なし
	資料2（南多摩保健所資料）
	「学年別薬物乱用防止教育プログラム（第3版）」
	「危険ドラッグ撲滅作戦」チラシ
	資料3（多摩児童相談所資料）
	「多摩児童相談所 平成27年度相談概況（推計値）」
	児童虐待防止啓発ボールペン
	資料4（多摩市総務部資料）
	「平成27年度不審者情報の傾向」